

be English Logic and Expression I Clear New Edition

LESSON 1 Meeting People

単元目標		・現在形や現在進行形を正しく用いて表現することができる。 ・自分や身近な人のことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い，自分のことを伝え，相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	--	---

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 自分や身近な人について，動詞の現在形や現在進行形を用いて，伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> クラスメイトについて，動詞の現在形や現在進行形を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 動詞の現在形や現在進行形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） <技能> 自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて，書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）
	a	自分や身近な人について，動詞の現在形や現在進行形などを適切に用いて，ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	クラスメイトについて，動詞の現在形や現在進行形の表現を適切に用いて，ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて，ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	自分や身近な人について，動詞の現在形や現在進行形などを用いて，コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	クラスメイトについて，動詞の現在形や現在進行形の表現を用いて，コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて，コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	自分や身近な人について，動詞の現在形や現在進行形を用いて，英語で伝え合うことが十分できない。	c	クラスメイトについて，動詞の現在形や現在進行形の表現を用いて，英語で話すことが十分できない。	c	自分や身近な人の習慣について動詞の現在形や現在進行形を用いて，書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	自分や身近な人について，筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）	目標	クラスメイトについての情報を，筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	自分や身近な人の習慣についての情報を，筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）
	a	自分や身近な人について，筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	クラスメイトについての情報を，筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	自分や身近な人の習慣についての情報を，筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	自分や身近な人について，伝え合うことができる。	b	クラスメイトについての情報を，話すことができる。	b	自分や身近な人の習慣についての情報を，ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	自分や身近な人について，伝え合うことが十分できない。	c	自分や身近な人についての情報を，話すことが十分できない。	c	自分や身近な人の習慣についての情報を，書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	自分や身近な人について，筋道を立てて伝え合おうとしている。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	クラスメイトについての情報を，筋道を立てて詳しく話そうとしている。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	自分や身近な人の習慣についての情報を，筋道を立てて詳しく書こうとしている。また，自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）
	a	自分や身近な人について，自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している	a	クラスメイトについての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また，自分の発話を振り返り，改善点を見出している。	a	自分や身近な人の習慣についての情報を，自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また，自分の書いたものを振り返り，改善点を見出している。
	b	自分や身近な人について，伝え合う姿勢がみられる。	b	クラスメイトについての情報を，話そうとする姿勢がみられる。	b	自分や身近な人の習慣についての情報を，書こうとする態度がみられる。
	c	自分や身近な人について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	クラスメイトについての情報を，何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	自分や身近な人の習慣についての情報を，何とか書こうとする態度がみられない。

※3領域について，3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが，授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して，特に評価すべきと思われる主な活動を，目標の欄に（TASK-A）（SHARE）（WRITE）のような形で表しています。参考にお使いください。□

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 2 Holidays and Weekends

単元目標	・過去形や過去進行形を正しく用いて表現することができる。 ・休日・週末にしたことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	--

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 週末の出来事について、動詞の過去形や過去進行形を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 楽しかった思い出について、動詞の過去形や過去進行形を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 動詞の過去形や過去進行形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） <技能> 週末の出来事について動詞の過去形や過去進行形を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）
	a	週末の出来事について、動詞の過去形や過去進行形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	楽しかった思い出について、動詞の過去形や過去進行形の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	週末の出来事について動詞の過去形や過去進行形を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	週末の出来事について、動詞の過去形や過去進行形などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	楽しかった思い出について、動詞の過去形や過去進行形の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	週末の出来事について動詞の過去形や過去進行形を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	週末の出来事について、動詞の過去形や過去進行形を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	楽しかった思い出について、動詞の過去形や過去進行形の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	週末の出来事について動詞の過去形や過去進行形を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	週末の出来事について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）	目標	楽しかった思い出についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	週末の出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）
	a	週末の出来事について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	楽しかった思い出についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	週末の出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	週末の出来事について、伝え合うことができる。	b	楽しかった思い出についての情報を、話すことができる。	b	週末の出来事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	週末の出来事について、伝え合うことが十分できない。	c	楽しかった思い出についての情報を、話すことが十分できない。	c	週末の出来事についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	週末の出来事について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	楽しかった思い出のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	週末の出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）
	a	週末の出来事について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	楽しかった思い出のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	週末の出来事についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	週末の出来事について、伝え合う姿勢がみられる。	b	楽しかった思い出のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	週末の出来事についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	週末の出来事について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	楽しかった思い出のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	週末の出来事についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 3 Making Plans

単元目標	・未来の表現を正しく用いて表現することができる。 ・予定について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	--

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 未来の表現の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 休日の予定について、未来の表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 未来の表現の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 自分や身近な人の予定について、未来の表現を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 未来の表現の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） <技能> 休日の予定について未来の表現を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）
	a	休日の予定について、未来の表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	自分や身近な人の予定について、未来の表現の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	休日の予定について未来の表現を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	休日の予定について、未来の表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	自分や身近な人の予定について、未来の表現の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	休日の予定について未来の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	休日の予定について、未来の表現を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	自分や身近な人の予定について、未来の表現の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	休日の予定について未来の表現を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	休日の予定について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	自分や身近な人の予定についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2）	目標	休日の予定についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）
	a	休日の予定について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	自分や身近な人の予定についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	休日の予定についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	休日の予定について、伝え合うことができる。	b	自分や身近な人の予定についての情報を、話すことができる。	b	休日の予定についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	休日の予定について、伝え合うことが十分できない。	c	自分や身近な人の予定についての情報を、話すことが十分できない。	c	休日の予定についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	休日の予定について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	自分や身近な人の予定のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	休日の予定についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）
	a	休日の予定について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	自分や身近な人の予定のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	休日の予定についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	休日の予定について、伝え合う姿勢がみられる。	b	自分や身近な人の予定のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	休日の予定についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	休日の予定について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	自分や身近な人の予定のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	休日の予定についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 4 Experiences

単元目標		・現在完了形を正しく用いて表現することができる。 ・経験したことについて話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	--	---

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 外出先で撮った写真の状況について、動詞の現在完了形を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 今までの経験について、動詞の現在完了形を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 動詞の現在完了形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） <技能> 行ったことがある場所について動詞の現在完了形を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）
	a	外出先で撮った写真の状況について、動詞の現在完了形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	今までの経験について、動詞の現在完了形の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	行ったことがある場所について動詞の現在完了形を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	外出先で撮った写真の状況について、動詞の現在完了形などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	今までの経験について、動詞の現在完了形の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	行ったことがある場所について動詞の現在完了形を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	外出先で撮った写真の状況について、動詞の現在完了形を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	今までの経験について、動詞の現在完了形の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	行ったことがある場所について動詞の現在完了形を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	外出先で撮った写真の状況について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	今までの経験についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2）	目標	行ったことがある場所についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）
	a	外出先で撮った写真の状況について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	今までの経験についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	行ったことがある場所についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	外出先で撮った写真の状況について、伝え合うことができる。	b	今までの経験についての情報を、話すことができる。	b	行ったことがある場所についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	外出先で撮った写真の状況について、伝え合うことが十分できない。	c	今までの経験についての情報を、話すことが十分できない。	c	行ったことがある場所についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	外出先で撮った写真の状況について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	今までの経験のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	行ったことがある場所についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）
	a	外出先で撮った写真の状況について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	今までの経験のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	行ったことがある場所についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	外出先で撮った写真の状況について、伝え合う姿勢がみられる。	b	今までの経験のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	行ったことがある場所についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	外出先で撮った写真の状況について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	今までの経験のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	行ったことがある場所についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 5 Study and Activities

単元目標		・過去完了形を正しく用いて表現することができる。 ・学習・課外活動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	--	--

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 達成した事柄について、動詞の過去完了形を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 高校入学までの経験について、動詞の過去完了形を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 動詞の過去完了形の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） <技能> 達成した経験について動詞の過去完了形を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）
	a	達成した事柄について、動詞の過去完了形などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	高校入学までの経験について、動詞の過去完了形の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	達成した経験について動詞の過去完了形を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	達成した事柄について、動詞の過去完了形などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	高校入学までの経験について、動詞の過去完了形の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	達成した経験について動詞の過去完了形を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	達成した事柄について、動詞の過去完了形を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	高校入学までの経験について、動詞の過去完了形の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	達成した経験について動詞の過去完了形を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	達成した事柄について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	高校入学までの経験についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2）	目標	達成した経験についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）
	a	達成した事柄について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	高校入学までの経験についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	達成した経験についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	達成した事柄について、伝え合うことができる。	b	高校入学までの経験についての情報を、話すことができる。	b	達成した経験についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	達成した事柄について、伝え合うことが十分できない。	c	高校入学までの経験についての情報を、話すことが十分できない。	c	達成した経験についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	達成した事柄について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	高校入学までの経験のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	達成した経験についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）
	a	達成した事柄について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	高校入学までの経験のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	達成した経験についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	達成した事柄について、伝え合う姿勢がみられる。	b	高校入学までの経験のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	達成した経験についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	達成した事柄について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	高校入学までの経験のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	達成した経験についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 6 Food

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標	・可能や推量などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・食べ物について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	--

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 可能や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 料理の作り方について、可能や推量などを表す助動詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 可能や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 食べ物の好き嫌いについて、可能や推量などを表す助動詞を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 可能や推量などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） <技能> 料理の作り方について可能や推量などを表す助動詞を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）
	a	料理の作り方について、可能や推量などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	食べ物の好き嫌いについて、可能や推量などを表す助動詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	料理の作り方について可能や推量などを表す助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	料理の作り方について、可能や推量などを表す助動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	食べ物の好き嫌いについて、可能や推量などを表す助動詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	料理の作り方について可能や推量などを表す助動詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	料理の作り方について、可能や推量などを表す助動詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	食べ物の好き嫌いについて、可能や推量などを表す助動詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	料理の作り方について可能や推量などを表す助動詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	料理の作り方について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	食べ物の好き嫌いについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2）	目標	料理の作り方についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）
	a	料理の作り方について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	食べ物の好き嫌いについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	料理の作り方についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	料理の作り方について、伝え合うことができる。	b	食べ物の好き嫌いについての情報を、話すことができる。	b	料理の作り方についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	料理の作り方について、伝え合うことが十分できない。	c	食べ物の好き嫌いについての情報を、話すことが十分できない。	c	料理の作り方についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	料理の作り方について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	食べ物の好き嫌いのことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	料理の作り方についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）
	a	料理の作り方について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	食べ物の好き嫌いのことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	料理の作り方についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	料理の作り方について、伝え合う姿勢がみられる。	b	食べ物の好き嫌いのことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	料理の作り方についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	料理の作り方について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	食べ物の好き嫌いのことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	料理の作り方についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 7 School Life

単元目標	・義務や確信などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・学校生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	---

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 学校生活での義務・禁止について、義務や確信などを表す助動詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 学校の規則について、義務や確信などを表す助動詞を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 義務や確信などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） <技能> 学校の規則について義務や確信などを表す助動詞を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）
	a	学校生活での義務・禁止について、義務や確信などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	学校の規則について、義務や確信などを表す助動詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	学校の規則について義務や確信などを表す助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	学校生活での義務・禁止について、義務や確信などを表す助動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	学校の規則について、義務や確信などを表す助動詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	学校の規則について義務や確信などを表す助動詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	学校生活での義務・禁止について、義務や確信などを表す助動詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	学校の規則について、義務や確信などを表す助動詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	学校の規則について義務や確信などを表す助動詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	学校生活での義務・禁止について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）	目標	学校の規則についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	学校の規則についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）
	a	学校生活での義務・禁止について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	学校の規則についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	学校の規則についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	学校生活での義務・禁止について、伝え合うことができる。	b	学校の規則についての情報を、話すことができる。	b	学校の規則についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	学校生活での義務・禁止について、伝え合うことが十分できない。	c	学校の規則についての情報を、話すことが十分できない。	c	学校の規則についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	学校生活での義務・禁止について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	学校の規則のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	学校の規則についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）
	a	学校生活での義務・禁止について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	学校の規則のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	学校の規則についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	学校生活での義務・禁止について、伝え合う姿勢がみられる。	b	学校の規則のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	学校の規則についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	学校生活での義務・禁止について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	学校の規則のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	学校の規則についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 8 Daily Life

単元目標	・依頼や意志・推測などを表す助動詞を正しく用いて表現することができる。 ・日常生活について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	--

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 依頼や意志・推測などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。 (CHECK-A) <技能> ホームステイの準備について、依頼や意志・推測などを表す助動詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 依頼や意志・推測などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。 (CHECK-A) <技能> 旅行中の迷うこと・困ったことについて、依頼や意志・推測などを表す助動詞を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 依頼や意志・推測などを表す助動詞の意味や働きについて理解している。 (CHECK-A, B, C) <技能> ホストファミリー宛てのメールについて依頼や意志・推測などを表す助動詞を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）
	a	ホームステイの準備について、依頼や意志・推測などを表す助動詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	旅行中の迷うこと・困ったことについて、依頼や意志・推測などを表す助動詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	ホストファミリー宛てのメールについて依頼や意志・推測などを表す助動詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	ホームステイの準備について、依頼や意志・推測などを表す助動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	旅行中の迷うこと・困ったことについて、依頼や意志・推測などを表す助動詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	ホストファミリー宛てのメールについて依頼や意志・推測などを表す助動詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	ホームステイの準備について、依頼や意志・推測などを表す助動詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	旅行中の迷うこと・困ったことについて、依頼や意志・推測などを表す助動詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	ホストファミリー宛てのメールについて依頼や意志・推測などを表す助動詞を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	ホームステイの準備について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	旅行中の迷うこと・困ったことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2）	目標	ホストファミリー宛てのメールについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）
	a	ホームステイの準備について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	旅行中の迷うこと・困ったことについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	ホストファミリー宛てのメールについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	ホームステイの準備について、伝え合うことができる。	b	旅行中の迷うこと・困ったことについての情報を、話すことができる。	b	ホストファミリー宛てのメールについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	ホームステイの準備について、伝え合うことが十分できない。	c	旅行中の迷うこと・困ったことについての情報を、話すことが十分できない。	c	ホストファミリー宛てのメールについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ホームステイの準備について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	旅行中の迷うこと・困ったことのことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	ホストファミリー宛てのメールについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）
	a	ホームステイの準備について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	旅行中の迷うこと・困ったことのことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	ホストファミリー宛てのメールについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	ホームステイの準備について、伝え合う姿勢がみられる。	b	旅行中の迷うこと・困ったことのことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	ホストファミリー宛てのメールについての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	ホームステイの準備について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	旅行中の迷うこと・困ったことのことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	ホストファミリー宛てのメールについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 9 Buildings and Transportation

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標		・受動態を正しく用いて表現することができる。 ・建物や交通の問題について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。					
		話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	＜知識＞ 受動態の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) ＜技能＞ 交通上の安全について、受動態を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2, SHARE)	目標	＜知識＞ 受動態の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) ＜技能＞ 建造物について、受動態を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	＜知識＞ 受動態の意味や働きについて理解している。(CHECK-A, B, C) ＜技能＞ 交通の改善のための文章を、受動態を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-A1, B, C, WRITE)	
	a	交通上の安全について、受動態などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	建造物について、受動態を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	交通の改善のための文章を、受動態を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
	b	交通上の安全について、受動態などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	建造物について、受動態を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	交通の改善のための文章を、受動態を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	
	c	交通上の安全について、受動態を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	建造物について、受動態を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	交通の改善のための文章を、受動態を用いて、書くことが十分できない。	
思考・判断・表現	目標	交通上の安全について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A2, SHARE)	目標	建造物について、紹介したいことを、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A2)	目標	交通の改善についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)	
	a	交通上の安全について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	建造物について、紹介したいことを、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	交通の改善についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	
	b	交通上の安全について、伝え合うことができる。	b	建造物について、紹介したいことを、話すことができる。	b	交通の改善についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。	
	c	交通上の安全について、伝え合うことが十分できない。	c	建造物について、紹介したいことを、話すことが十分できない。	c	交通の改善についての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学習に取り組む態度	目標	交通上の安全について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2, SHARE)	目標	建造物について、紹介したいことを、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	交通の改善についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)	
	a	交通上の安全について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	建造物について、紹介したいことを、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	交通の改善についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	
	b	交通上の安全について、伝え合う姿勢がみられる。	b	建造物について、紹介したいことを、話そうとする姿勢がみられる。	b	交通の改善についての情報を、書こうとする態度がみられる。	
	c	交通上の安全について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	建造物について、紹介したいことを、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	交通の改善についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。	

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 10 The Future

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標		・不定詞の名詞用法を正しく用いて表現することができる。 ・将来したい活動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。					
	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと		
知識・技能	目標	＜知識＞ 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 将来の夢について、不定詞の名詞用法を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	＜知識＞ 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ AIが発達した未来について、不定詞の名詞用法を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	＜知識＞ 不定詞の名詞用法の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） ＜技能＞ 自分が将来してみたいことについて不定詞の名詞用法を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）	
	a	将来の夢について、不定詞の名詞用法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	AIが発達した未来について、不定詞の名詞用法の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	自分が将来してみたいことについて不定詞の名詞用法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
	b	将来の夢について、不定詞の名詞用法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	AIが発達した未来について、不定詞の名詞用法の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	自分が将来してみたいことについて不定詞の名詞用法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	
	c	将来の夢について、不定詞の名詞用法を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	AIが発達した未来について、不定詞の名詞用法の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	自分が将来してみたいことについて不定詞の名詞用法を用いて、書くことが十分できない。	
思考・判断・表現	目標	将来の夢について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）	目標	AIが発達した未来についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	自分が将来してみたいことについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）	
	a	将来の夢について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	AIが発達した未来についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	自分が将来してみたいことについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	
	b	将来の夢について、伝え合うことができる。	b	AIが発達した未来についての情報を、話すことができる。	b	自分が将来してみたいことについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。	
	c	将来の夢について、伝え合うことが十分できない。	c	AIが発達した未来についての情報を、話すことが十分できない。	c	自分が将来してみたいことについての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学習に取り組む態度	目標	将来の夢について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	AIが発達した未来についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	自分が将来してみたいことについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）	
	a	将来の夢について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	AIが発達した未来についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	自分が将来してみたいことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	
	b	将来の夢について、伝え合う姿勢がみられる。	b	AIが発達した未来についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	自分が将来してみたいことについての情報を、書こうとする態度がみられる。	
	c	将来の夢について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	AIが発達した未来についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	自分が将来してみたいことについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。	

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 11 Staying Healthy

単元目標		・不定詞の形容詞用法・副詞用法を正しく用いて表現することができる。 ・健康について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	--	--

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 不定詞の形容詞用法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、不定詞の形容詞用法を用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2, SHARE)	目標	<知識> 不定詞の副詞用法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 健康のために気をつけていることについて、不定詞の副詞用法を用いて話す技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	<知識> 不定詞の形容詞用法の意味や働きについて理解している。(CHECK-A, B, C) <技能> 病気予防の呼びかけについて不定詞の形容詞用法を用いて、書く技能を身につけている。(TASK-A1, B, C, WRITE)
	a	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、不定詞の形容詞用法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	健康のために気をつけていることについて、不定詞の副詞用法の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	病気予防の呼びかけについて不定詞の形容詞用法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、不定詞の形容詞用法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	健康のために気をつけていることについて、不定詞の副詞用法の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	病気予防の呼びかけについて不定詞の形容詞用法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、不定詞の形容詞用法を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	健康のために気をつけていることについて、不定詞の副詞用法の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	病気予防の呼びかけについて不定詞の形容詞用法を用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A2, SHARE)	目標	健康のために気をつけていることについて、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A2)	目標	病気予防の呼びかけについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)
	a	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	健康のために気をつけていることについて、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	病気予防の呼びかけについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、伝え合うことができる。	b	健康のために気をつけていることについて、話すことができる。	b	病気予防の呼びかけについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、伝え合うことが十分できない。	c	健康のために気をつけていることについて、話すことが十分できない。	c	病気予防の呼びかけについての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2, SHARE)	目標	健康のために気をつけていることについて、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	病気予防の呼びかけについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	健康のために気をつけていることについて、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	病気予防の呼びかけについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて、伝え合う姿勢がみられる。	b	健康のために気をつけていることについて、話そうとする姿勢がみられる。	b	病気予防の呼びかけについての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	具合が悪くなった友だちへのアドバイスについて何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	健康のために気をつけていることについて、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	病気予防の呼びかけについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-A)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 12 Electrical Appliances

単元目標	・人に何かをさせる不定詞や使役動詞などを正しく用いて表現することができる。 ・電化製品について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	---

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 人に何かをさせる不定詞や使役動詞などの意味や働きについて理解している。 （CHECK-A） <技能> 学校にあったらいいと思う電化製品について、人に何かをさせる不定詞や使役動詞などを用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 人に何かをさせる不定詞や使役動詞などの意味や働きについて理解している。 （CHECK-A） <技能> 便利な電化製品について、人に何かをさせる不定詞や使役動詞などを用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 人に何かをさせる不定詞や使役動詞などの意味や働きについて理解している。 （CHECK-A, B, C） <技能> 製品の広告文について人に何かをさせる不定詞や使役動詞などを用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）
	a	学校にあったらいいと思う電化製品について、人に何かをさせる不定詞や使役動詞などなどを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	便利な電化製品について、人に何かをさせる不定詞や使役動詞などの表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	製品の広告文について人に何かをさせる不定詞や使役動詞などを用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	学校にあったらいいと思う電化製品について、人に何かをさせる不定詞や使役動詞などなどを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	便利な電化製品について、人に何かをさせる不定詞や使役動詞などの表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	製品の広告文について人に何かをさせる不定詞や使役動詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	学校にあったらいいと思う電化製品について、人に何かをさせる不定詞や使役動詞などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	便利な電化製品について、人に何かをさせる不定詞や使役動詞などの表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	製品の広告文について人に何かをさせる不定詞や使役動詞などを用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	学校にあったらいいと思う電化製品について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）	目標	便利な電化製品についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	製品の広告文についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）
	a	学校にあったらいいと思う電化製品について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	便利な電化製品についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	製品の広告文についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	学校にあったらいいと思う電化製品について、伝え合うことができる。	b	便利な電化製品についての情報を、話すことができる。	b	製品の広告文についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	学校にあったらいいと思う電化製品について、伝え合うことが十分できない。	c	便利な電化製品についての情報を、話すことが十分できない。	c	製品の広告文についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	学校にあったらいいと思う電化製品について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	便利な電化製品についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	製品の広告文についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）
	a	学校にあったらいいと思う電化製品について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	便利な電化製品についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	製品の広告文についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	学校にあったらいいと思う電化製品について、伝え合う姿勢がみられる。	b	便利な電化製品についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	製品の広告文についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	学校にあったらいいと思う電化製品について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	便利な電化製品についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	製品の広告文についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 13 Hobbies and Interests

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標		・動名詞を正しく用いて表現することができる。 ・趣味・興味について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							
		話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと			
知識・技能	目標	＜知識＞ 動名詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 趣味や興味について、動名詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）		目標	＜知識＞ 動名詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 趣味や夢中になっていることについて、動名詞を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）		目標	＜知識＞ 動名詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） ＜技能＞ 趣味や夢中になっていることについて動名詞を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）	
	a	趣味や興味について、動名詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。		a	趣味や夢中になっていることについて、動名詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。		a	趣味や夢中になっていることについて動名詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
	b	趣味や興味について、動名詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。		b	趣味や夢中になっていることについて、動名詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。		b	趣味や夢中になっていることについて動名詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	
	c	趣味や興味について、動名詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。		c	趣味や夢中になっていることについて、動名詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。		c	趣味や夢中になっていることについて動名詞を用いて、書くことが十分できない。	
思考・判断・表現	目標	趣味や興味について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）		目標	趣味や夢中になっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2, SHARE）		目標	趣味や夢中になっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）	
	a	趣味や興味について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		a	趣味や夢中になっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。		a	趣味や夢中になっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	
	b	趣味や興味について、伝え合うことができる。		b	趣味や夢中になっていることについての情報を、話すことができる。		b	趣味や夢中になっていることについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。	
	c	趣味や興味について、伝え合うことが十分できない。		c	趣味や夢中になっていることについての情報を、話すことが十分できない。		c	趣味や夢中になっていることについての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学習に取り組む態度	目標	趣味や興味について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）		目標	趣味や夢中になっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）		目標	趣味や夢中になっていることについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）	
	a	趣味や興味について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している		a	趣味や夢中になっていることについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。		a	趣味や夢中になっていることについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	
	b	趣味や興味について、伝え合う姿勢がみられる。		b	趣味や夢中になっていることについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。		b	趣味や夢中になっていることについての情報を、書こうとする態度がみられる。	
	c	趣味や興味について何とか伝え合う姿勢がみられない。		c	趣味や夢中になっていることについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。		c	趣味や夢中になっていることについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。	

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 14 The World of Nature

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標		・分詞を正しく用いて表現することができる。 ・自然について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							
		話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと			
知識・技能	目標	＜知識＞ 分詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A) ＜技能＞ 旅先のレビューについて、分詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。 （TASK-A2, SHARE）		目標	＜知識＞ 分詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 自然に感動した経験について、分詞を用いて話す技能を身につけている。 （TASK-A2）		目標	＜知識＞ 分詞の意味や働きについて理解している。(CHECK-A, B, C) ＜技能＞ 自然を楽しめる場所のレビューについて分詞を用いて、書く技能を身につけて いる。（TASK-A1, B, C, WRITE）	
	a	旅先のレビューについて、分詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合 うことができる。		a	自然に感動した経験について、分詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で 話すことができる。		a	自然を楽しめる場所のレビューについて分詞を用いて、ほぼ正しい英語で書く ことができる。	
	b	旅先のレビューについて、分詞などを用いて、コミュニケーションに支障のな い英語で伝え合うことができる。		b	自然に感動した経験について、分詞の表現を用いて、コミュニケーションに支 障のない英語で話すことができる。		b	自然を楽しめる場所のレビューについて分詞を用いて、コミュニケーションに 支障のない英語で書くことができる。	
	c	旅先のレビューについて、分詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できな い。		c	自然に感動した経験について、分詞の表現を用いて、英語で話すことが十分で きない。		c	自然を楽しめる場所のレビューについて分詞を用いて、書くことが十分できな い。	
思考・判 断・表現	目標	旅先のレビューについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。 （TASK-A2, SHARE）		目標	自然に感動した経験についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができ る。（TASK-A2）		目標	自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、筋道を立てて詳しく書くこ とができる。（TASK-B, WRITE）	
	a	旅先のレビューについて、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		a	自然に感動した経験についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができ る。		a	自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、筋道を立てて詳しく書くこ とができる。	
	b	旅先のレビューについて、伝え合うことができる。		b	自然に感動した経験についての情報を、話すことができる。		b	自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、ある程度まとまりのある文 章で書くことができる。	
	c	旅先のレビューについて、伝え合うことが十分できない。		c	自然に感動した経験についての情報を、話すことが十分できない。		c	自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学 習に取り組 む態度	目標	旅先のレビューについて、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の 発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）		目標	自然に感動した経験のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとし ている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）		目標	自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、筋道を立てて詳しく書こう としている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。 （TASK-C, WRITE）	
	a	旅先のレビューについて、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。 また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している		a	自然に感動した経験のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく 話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出し ている。		a	自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳 しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善 点を見出している。	
	b	旅先のレビューについて、伝え合う姿勢がみられる。		b	自然に感動した経験のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。		b	自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、書こうとする態度がみられ る。	
	c	旅先のレビューについて何とか伝え合う姿勢がみられない。		c	自然に感動した経験のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみら れない。		c	自然を楽しめる場所のレビューについての情報を、何とか書こうとする態度が みられない。	

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 15 Trouble and Difficulties

単元目標		・分詞構文などを正しく用いて表現することができる。 ・トラブル・困難について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。
------	--	---

	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと	
知識・技能	目標	<知識> 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> ニュース記事の内容について、分詞構文などを用いて、伝え合う技能を身につけている。(TASK-A2, SHARE)	目標	<知識> 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(CHECK-A) <技能> 自分の身の周りに起きたトラブルについて、分詞構文などを用いて話す技能を身につけている。(TASK-A2)	目標	<知識> 分詞構文などの意味や働きについて理解している。(CHECK-A, B, C) <技能> 最近のニュースや自分に起きた出来事について分詞構文などを用いて、書く技能を身につけている。(TASK-A1, B, C, WRITE)
	a	ニュース記事の内容について、分詞構文などなどを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	自分の身の周りに起きたトラブルについて、分詞構文などの表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	最近のニュースや自分に起きた出来事について分詞構文などを用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。
	b	ニュース記事の内容について、分詞構文などなどを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	自分の身の周りに起きたトラブルについて、分詞構文などの表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	最近のニュースや自分に起きた出来事について分詞構文などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。
	c	ニュース記事の内容について、分詞構文などを用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	自分の身の周りに起きたトラブルについて、分詞構文などの表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	最近のニュースや自分に起きた出来事について分詞構文などを用いて、書くことが十分できない。
思考・判断・表現	目標	ニュース記事の内容について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。(TASK-A2, SHARE)	目標	自分の身の周りに起きたトラブルについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。(TASK-A2)	目標	最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。(TASK-B, WRITE)
	a	ニュース記事の内容について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	自分の身の周りに起きたトラブルについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。
	b	ニュース記事の内容について、伝え合うことができる。	b	自分の身の周りに起きたトラブルについての情報を、話すことができる。	b	最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。
	c	ニュース記事の内容について、伝え合うことが十分できない。	c	自分の身の周りに起きたトラブルについての情報を、話すことが十分できない。	c	最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、書くことが十分できない。
主体的に学習に取り組む態度	目標	ニュース記事の内容について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2, SHARE)	目標	自分の身の周りに起きたトラブルのことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。(TASK-A2)	目標	最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。(TASK-C, WRITE)
	a	ニュース記事の内容について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	自分の身の周りに起きたトラブルのことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。
	b	ニュース記事の内容について、伝え合う姿勢がみられる。	b	自分の身の周りに起きたトラブルのことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、書こうとする態度がみられる。
	c	ニュース記事の内容について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	自分の身の周りに起きたトラブルのことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	最近のニュースや自分に起きた出来事についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、(TASK-A)のような形で表しています。参考にお使いください。☒

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 16 Inventions and Discovery

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標		・関係代名詞（限定用法）を正しく用いて表現することができる。 ・発明・発見について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							
		話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと			
知識・技能	目標	＜知識＞ 関係代名詞（限定用法）の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 私たちの生活を変えた発明品について、関係代名詞（限定用法）を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）		目標	＜知識＞ 関係代名詞（限定用法）の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 発明家や偉人について、関係代名詞（限定用法）を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）		目標	＜知識＞ 関係代名詞（限定用法）の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） ＜技能＞ 発明品とその機能について関係代名詞（限定用法）を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）	
	a	私たちの生活を変えた発明品について、関係代名詞（限定用法）などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。		a	発明家や偉人について、関係代名詞（限定用法）の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。		a	発明品とその機能について関係代名詞（限定用法）を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
	b	私たちの生活を変えた発明品について、関係代名詞（限定用法）などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。		b	発明家や偉人について、関係代名詞（限定用法）の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。		b	発明品とその機能について関係代名詞（限定用法）を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	
	c	私たちの生活を変えた発明品について、関係代名詞（限定用法）を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。		c	発明家や偉人について、関係代名詞（限定用法）の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。		c	発明品とその機能について関係代名詞（限定用法）を用いて、書くことが十分できない。	
思考・判断・表現	目標	私たちの生活を変えた発明品について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）		目標	発明家や偉人についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2, SHARE）		目標	発明品とその機能についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）	
	a	私たちの生活を変えた発明品について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		a	発明家や偉人についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。		a	発明品とその機能についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	
	b	私たちの生活を変えた発明品について、伝え合うことができる。		b	発明家や偉人についての情報を、話すことができる。		b	発明品とその機能についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。	
	c	私たちの生活を変えた発明品について、伝え合うことが十分できない。		c	発明家や偉人についての情報を、話すことが十分できない。		c	発明品とその機能についての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学習に取り組む態度	目標	私たちの生活を変えた発明品について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）		目標	発明家や偉人についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）		目標	発明品とその機能についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）	
	a	私たちの生活を変えた発明品について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している		a	発明家や偉人についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。		a	発明品とその機能についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	
	b	私たちの生活を変えた発明品について、伝え合う姿勢がみられる。		b	発明家や偉人についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。		b	発明品とその機能についての情報を、書こうとする態度がみられる。	
	c	私たちの生活を変えた発明品について何とか伝え合う姿勢がみられない。		c	発明家や偉人についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。		c	発明品とその機能についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。	

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 17 Career and Social Service

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標		・関係代名詞（非限定用法）を正しく用いて表現することができる。 ・職業・社会活動について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							
		話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと			
知識・技能	目標	<知識> 関係代名詞（非限定用法）の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> ある人の職業について、関係代名詞（非限定用法）を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）		目標	<知識> 関係代名詞（非限定用法）の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 職業について、関係代名詞（非限定用法）を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）		目標	<知識> 関係代名詞（非限定用法）の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） <技能> 興味のある仕事とその内容について関係代名詞（非限定用法）を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）	
	a	ある人の職業について、関係代名詞（非限定用法）などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。		a	職業について、関係代名詞（非限定用法）の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。		a	興味のある仕事とその内容について関係代名詞（非限定用法）を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
	b	ある人の職業について、関係代名詞（非限定用法）などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。		b	職業について、関係代名詞（非限定用法）の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。		b	興味のある仕事とその内容について関係代名詞（非限定用法）を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	
	c	ある人の職業について、関係代名詞（非限定用法）を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。		c	職業について、関係代名詞（非限定用法）の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。		c	興味のある仕事とその内容について関係代名詞（非限定用法）を用いて、書くことが十分できない。	
思考・判断・表現	目標	ある人の職業について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）		目標	職業についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2, SHARE）		目標	興味のある仕事とその内容についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）	
	a	ある人の職業について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		a	職業についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。		a	興味のある仕事とその内容についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	
	b	ある人の職業について、伝え合うことができる。		b	職業についての情報を、話すことができる。		b	興味のある仕事とその内容についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。	
	c	ある人の職業について、伝え合うことが十分できない。		c	職業についての情報を、話すことが十分できない。		c	興味のある仕事とその内容についての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学習に取り組む態度	目標	ある人の職業について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）		目標	職業についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）		目標	興味のある仕事とその内容についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）	
	a	ある人の職業について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している		a	職業についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。		a	興味のある仕事とその内容についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	
	b	ある人の職業について、伝え合う姿勢がみられる。		b	職業についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。		b	興味のある仕事とその内容についての情報を、書こうとする態度がみられる。	
	c	ある人の職業について何とか伝え合う姿勢がみられない。		c	職業についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。		c	興味のある仕事とその内容についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。	

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 18 Events and Customs

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標		・関係副詞を正しく用いて表現することができる。 ・行事・慣習について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。					
	話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと		
知識・技能	目標	<知識> 関係副詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 世界の行事について、関係副詞を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）	目標	<知識> 関係副詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） <技能> 知っている、または参加した行事やイベントについて、関係副詞を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2）	目標	<知識> 関係副詞の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） <技能> 参加してみたい行事について関係副詞を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）	
	a	世界の行事について、関係副詞などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。	a	知っている、または参加した行事やイベントについて、関係副詞の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。	a	参加してみたい行事について関係副詞を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
	b	世界の行事について、関係副詞などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。	b	知っている、または参加した行事やイベントについて、関係副詞の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。	b	参加してみたい行事について関係副詞を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	
	c	世界の行事について、関係副詞を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。	c	知っている、または参加した行事やイベントについて、関係副詞の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。	c	参加してみたい行事について関係副詞を用いて、書くことが十分できない。	
思考・判断・表現	目標	世界の行事について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2, SHARE）	目標	知っている、または参加した行事やイベントについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2）	目標	参加してみたい行事についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）	
	a	世界の行事について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。	a	知っている、または参加した行事やイベントについての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。	a	参加してみたい行事についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	
	b	世界の行事について、伝え合うことができる。	b	知っている、または参加した行事やイベントについての情報を、話すことができる。	b	参加してみたい行事についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。	
	c	世界の行事について、伝え合うことが十分できない。	c	知っている、または参加した行事やイベントについての情報を、話すことが十分できない。	c	参加してみたい行事についての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学習に取り組む態度	目標	世界の行事について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）	目標	知っている、または参加した行事やイベントについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）	目標	参加してみたい行事についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）	
	a	世界の行事について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している	a	知っている、または参加した行事やイベントについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。	a	参加してみたい行事についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	
	b	世界の行事について、伝え合う姿勢がみられる。	b	知っている、または参加した行事やイベントについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。	b	参加してみたい行事についての情報を、書こうとする態度がみられる。	
	c	世界の行事について何とか伝え合う姿勢がみられない。	c	知っている、または参加した行事やイベントについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。	c	参加してみたい行事についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。	

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 19 Living Environment

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標		・比較表現を正しく用いて表現することができる。 ・生活環境について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							
		話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと			
知識・技能	目標	＜知識＞ 比較表現の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 大きな街と郊外の町の比較について、比較表現を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）		目標	＜知識＞ 比較表現の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 物件の比較について、比較表現を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2）		目標	＜知識＞ 比較表現の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） ＜技能＞ 大きな街と郊外の町のどちらがよいかについて比較表現を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）	
	a	大きな街と郊外の町の比較について、比較表現などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。		a	物件の比較について、比較表現の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。		a	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについて比較表現を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
	b	大きな街と郊外の町の比較について、比較表現などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。		b	物件の比較について、比較表現の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。		b	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについて比較表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	
	c	大きな街と郊外の町の比較について、比較表現を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。		c	物件の比較について、比較表現の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。		c	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについて比較表現を用いて、書くことが十分できない。	
思考・判断・表現	目標	大きな街と郊外の町の比較について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2, SHARE）		目標	物件の比較についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2）		目標	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）	
	a	大きな街と郊外の町の比較について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		a	物件の比較についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。		a	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	
	b	大きな街と郊外の町の比較について、伝え合うことができる。		b	物件の比較についての情報を、話すことができる。		b	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。	
	c	大きな街と郊外の町の比較について、伝え合うことが十分できない。		c	物件の比較についての情報を、話すことが十分できない。		c	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学習に取り組む態度	目標	大きな街と郊外の町の比較について、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）		目標	物件の比較のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）		目標	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）	
	a	大きな街と郊外の町の比較について、自ら進んで筋道を立てて伝え合う姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している		a	物件の比較のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。		a	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	
	b	大きな街と郊外の町の比較について、伝え合う姿勢がみられる。		b	物件の比較のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。		b	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについての情報を、書こうとする態度がみられる。	
	c	大きな街と郊外の町の比較について何とか伝え合う姿勢がみられない。		c	物件の比較のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。		c	大きな街と郊外の町のどちらがよいかについての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。	

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 20 Social Problems

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラス状況に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標		・最上級を正しく用いて表現することができる。 ・社会問題について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							
		話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと			
知識・技能	目標	＜知識＞ 最上級の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 社会問題の解決策について、最上級を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）		目標	＜知識＞ 最上級の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ スマートフォンの利用について、最上級を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2, SHARE）		目標	＜知識＞ 最上級の意味や働きについて理解している。（CHECK-A, B, C） ＜技能＞ SNSに対する意見について最上級を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1, B, C, WRITE）	
	a	社会問題の解決策について、最上級などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。		a	スマートフォンの利用について、最上級の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。		a	SNSに対する意見について最上級を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
	b	社会問題の解決策について、最上級などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。		b	スマートフォンの利用について、最上級の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。		b	SNSに対する意見について最上級を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	
	c	社会問題の解決策について、最上級を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。		c	スマートフォンの利用について、最上級の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。		c	SNSに対する意見について最上級を用いて、書くことが十分できない。	
思考・判断・表現	目標	社会問題の解決策について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）		目標	スマートフォンの利用についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2, SHARE）		目標	SNSに対する意見についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B, WRITE）	
	a	社会問題の解決策について、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		a	スマートフォンの利用についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。		a	SNSに対する意見についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	
	b	社会問題の解決策について、伝え合うことができる。		b	スマートフォンの利用についての情報を、話すことができる。		b	SNSに対する意見についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。	
	c	社会問題の解決策について、伝え合うことが十分できない。		c	スマートフォンの利用についての情報を、話すことが十分できない。		c	SNSに対する意見についての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学習に取り組む態度	目標	社会問題の解決策について、相手に分かりやすく伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）		目標	スマートフォンの利用のことについての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2, SHARE）		目標	SNSに対する意見についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C, WRITE）	
	a	社会問題の解決策について、自ら進んで相手に分かりやすく伝え合おうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している		a	スマートフォンの利用のことについての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。		a	SNSに対する意見についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	
	b	社会問題の解決策について、伝え合おうとする姿勢がみられる。		b	スマートフォンの利用のことについての情報を、話そうとする姿勢がみられる。		b	SNSに対する意見についての情報を、書こうとする態度がみられる。	
	c	社会問題の解決策について何とか伝え合おうとする姿勢がみられない。		c	スマートフォンの利用のことについての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。		c	SNSに対する意見について、何とか書こうとする態度がみられない。	

be English Logic and Expression I Clear

LESSON 21 Making a Wish

※3領域について、3つの評価観点を原則としてすべてあげてありますが、授業の進行・クラスの状態に合わせて必要な項目のみお使いください。
※それぞれの領域と観点に関して、特に評価すべきと思われる主な活動を、（TASK-A）のような形で表しています。参考にお使いください。☒

単元目標		・仮定法を正しく用いて表現することができる。 ・願い事について話したり書いたりすることができる。 ・意欲的にコミュニケーションを行い、自分のことを伝え、相手の言うことを理解しようとする姿勢がみられる。							
		話すこと（やり取り）		話すこと（発表）		書くこと			
知識・技能	目標	＜知識＞ 仮定法の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 与えられた状況になったら何をするか、仮定法を用いて、伝え合う技能を身につけている。（TASK-A2）		目標	＜知識＞ 仮定法の意味や働きについて理解している。（CHECK-A） ＜技能＞ 現在や過去のことについての願望について、仮定法を用いて話す技能を身につけている。（TASK-A2、SHARE）		目標	＜知識＞ 仮定法の意味や働きについて理解している。（CHECK-A、B、C） ＜技能＞ 今年度の反省点と来年度の抱負について仮定法を用いて、書く技能を身につけている。（TASK-A1、B、C、WRITE）	
	a	与えられた状況になったら何をするか、仮定法などを適切に用いて、ほぼ正しい英語で伝え合うことができる。		a	現在や過去のことにについての願望について、仮定法の表現を適切に用いて、ほぼ正しい英語で話すことができる。		a	今年度の反省点と来年度の抱負について仮定法を用いて、ほぼ正しい英語で書くことができる。	
	b	与えられた状況になったら何をするか、仮定法などを用いて、コミュニケーションに支障のない英語で伝え合うことができる。		b	現在や過去のことにについての願望について、仮定法の表現を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で話すことができる。		b	今年度の反省点と来年度の抱負について仮定法を用いて、コミュニケーションに支障のない英語で書くことができる。	
	c	与えられた状況になったら何をするか、仮定法を用いて、英語で伝え合うことが十分できない。		c	現在や過去のことにについての願望について、仮定法の表現を用いて、英語で話すことが十分できない。		c	今年度の反省点と来年度の抱負について仮定法を用いて、書くことが十分できない。	
思考・判断・表現	目標	与えられた状況になったら何をするか、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。（TASK-A2）		目標	現在や過去のことにについての願望についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。（TASK-A2、SHARE）		目標	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。（TASK-B、WRITE）	
	a	与えられた状況になったら何をするか、筋道を立てて詳しく伝え合うことができる。		a	現在や過去のことにについての願望についての情報を、筋道を立てて詳しく話すことができる。		a	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、筋道を立てて詳しく書くことができる。	
	b	与えられた状況になったら何をするか、伝え合うことができる。		b	現在や過去のことにについての願望についての情報を、話すことができる。		b	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、ある程度まとまりのある文章で書くことができる。	
	c	与えられた状況になったら何をするか、伝え合うことが十分できない。		c	現在や過去のことにについての願望についての情報を、話すことが十分できない。		c	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、書くことが十分できない。	
主体的に学習に取り組む態度	目標	与えられた状況になったら何をするか、筋道を立てて伝え合おうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2）		目標	現在や過去のことにについての願望についての情報を、筋道を立てて詳しく話そうとしている。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。（TASK-A2、SHARE）		目標	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、筋道を立てて詳しく書こうとしている。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。（TASK-C、WRITE）	
	a	与えられた状況になったら何をするか、自ら進んで筋道を立てて伝え合おうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している		a	現在や過去のことにについての願望についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく話そうとする姿勢がみられる。また、自分の発話を振り返り、改善点を見出している。		a	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、自ら進んで筋道を立てて詳しく書こうとする態度がみられる。また、自分の書いたものを振り返り、改善点を見出している。	
	b	与えられた状況になったら何をするか、伝え合おうとする姿勢がみられる。		b	現在や過去のことにについての願望についての情報を、話そうとする姿勢がみられる。		b	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、書こうとする態度がみられる。	
	c	与えられた状況になったら何をするか何とか伝え合おうとする姿勢がみられない。		c	現在や過去のことにについての願望についての情報を、何とか話そうとする姿勢がみられない。		c	今年度の反省点と来年度の抱負についての情報を、何とか書こうとする態度がみられない。	